

令和2年度第5回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 令和2年11月20日(金) 14時55分開会 18時00分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之
小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明
監事 杉山 博 小田稔彦
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち8名が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。なお、浅岡理事については所要のため欠席するとの報告もなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4. 議 事

(1) 令和2年度各部会事業について

- ・ 都市（まち）づくり部会、上・下水道部会の事業では、令和2年10月22日に72名の参加を得て「まちづくり講習会（国土交通省下水道部下水道事業課など3講演）を開催したとの報告があった。
- ・ 土木防災部会、道路・構造部会の事業では、令和2年11月5日に62名の参加を得て「研修会（静岡県危機管理部危機政策課など2講演及び会員企業社員の研究事例発表2題）」を開催したとの報告があった。

- ・ 技術研究部会の事業では、県土木技術職員研修（橋梁点検・補修設計、斜面对策等）への講師派遣を行ったとの報告があった。

また、10月30日、11月17日に開催された県職員の農地技術及び土木技術発表会での発表者の中から、来年8月6日に開催を予定している協会主催の「技術研究発表会」における特別発表者2名を選定するとともに、発表の依頼を行ったことなどについての報告があった。

- ・ 研修会等を実施した3部会の事業について精算報告（概算）があり、全体の事業予算額1,000千円に対する事業実績は600千円（執行率60%）で前年度を若干上回る執行率であるとの説明がなされた。

(2) 令和3年 年頭の行事について

来年の年頭（1月15日）に予定されている各種行事について、今月中旬以降における新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた対応方針について協議が行われた。

この結果、第6回理事会及び政治連盟役員会は予定どおり開催することとしたが、政治連盟通常総会は「書面評決」の方式による開催に変更し、新春講演会及び新年賀詞交歓会は中止とすることが決定された。

(3) 国土交通省県内事務所との意見交換会について

国土交通省県内7事務所と建設関連業3団体（建設コンサルタント、測量設計、地質調査）との意見交換会については、令和2年11月9日に国の関係者16名、3団体の関係者18名の参加を得て開催され、3団体から国に対して地域コンサルタントの積極的活用等に関する要望を行い、国からは要望に対する回答のほか、各事務所の所管事業に関する情報の提供等が行われたとの報告があった。

(4) 県（交通基盤部、経済産業部農地局）との意見交換会について

県交通基盤部と協会との意見交換会については、令和2年10月21日に県の関係者18名、協会の関係者10名の参加を得て開催され、協会から県に対する発注等に関する要望やこれを踏まえた県との意見交換等が行われたとの報告があった。

また、県経済産業部農地局と協会との意見交換会については、令和2年11月13日に県の関係者8名、協会の関係者8名の参加を得て開催され、協会から県に対する発注等に関する要望やこれを踏まえた県との意見交換等が行われたとの報告があった。

(5) 静岡県建設業審議会委員の推薦について

令和2年11月10日、県から当協会に対して県が諮問機関として設置している「建設業審議会」の委員について推薦依頼があり、これを受諾して森崎会長を委員として推薦したとの報告があった。

(6) 道路啓開訓練について

静岡国道事務所等が主催する中部地域道路啓開訓練が令和2年11月18日に静岡市内で開催され、当協会からは服部エンジニアリング(株)及び(株)建設コンサルタントセンターが参加し、UAV(ドローン)を活用した被災状況調査等を行ったとの報告があった。

また、令和2年11月25日に予定されていた沼津河川国道事務所等が主催する東部地域道路啓開訓練については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、急遽、中止が決定されたとの報告があった。

(7) 県交通基盤部フォトコンテストについて

県が主催し当協会が共催した土木・建築フォトコンテストについて、令和2年11月5日に表彰式が開催され、森崎会長が「建設コンサルタンツ協会賞」を受賞者に授与したこと。また、建設産業の部では最優秀賞を(株)東海建設コンサルタントの社員が、優秀賞を(株)東日の社員が受賞したとの報告があった。

(8) 県交通基盤部等優良業務委託表彰式について

令和2年11月24日に表彰式が開催される予定であり、森崎会長が来賓として出席し祝辞を述べるとともに、小田理事が受賞者代表として挨拶を行うとの報告があった。

(9) 静岡理工科大学への訪問について

森崎会長及び芹澤副会長より、令和2年10月8日、令和4年4月からの「土木工学科」の開学を予定している静岡理工科大学(事務長)を訪問し、建設コンサルタント業界のPR活動を行ったとの報告があった。

当協会からは、学生達の学習に対してお手伝いできるチャンスがあれば、協力させて頂きたいとの話をしてあり、今後、当協会が主催する各種イベント(技術研究発表会等)で大学側との連携を図っていければ、将来の人材確保に繋がることも期待できるとのことであった。

(10) 災害協定の一元化について

小田理事(土木防災部会長)より、令和2年10月14日に開催された、第1回目の関係機関(県土木防災課、県測量設計業協会)との打ち合わせ結果について報告があった。

このことを受けて役員間で議論が行われたが、「協定の趣旨」、「対象となる災害の範囲」、「協会の果たす役割」、「国や市町事業との調整」、「協会内の協力体制の構築」等について、県から求められている内容が不明確、協会内での調整が困難等の意見が多く、協会としての対応方針については具体的な結論は出なかった。なお、第2回目の打ち合わせについては、12月17日に開催される予定とのことであった。

(11) 報告事項

ア 県農地技術研究発表会、土木技術発表会について

県農地技術研究発表会が令和2年10月30日に開催され、当協会からは11会員（33名）の参加があったこと。土木技術発表会は、令和2年11月17日に開催され、当協会からは15会員（30名）の参加があったことについて報告があった。…土木技術発表会は9会員（28名）のweb参加あり。

また、来年の協会主催の「技術研究発表会」における特別発表者2名を選定し、発表の依頼を行ったことについても報告があった。

イ 会員動静について

吉田測量設計（株）の代表者が、令和2年9月12日に吉田英司氏から石野直之氏に変更になったことについて報告があった。

ウ 年頭の挨拶廻りについて

毎年恒例の知事等への挨拶廻りについては、現時点では新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって、県から具体的な方針が示されていないため、今後の県からの連絡を待って対応を決めることとされた。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第5回理事会を18時00分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和2年11月20日

議長・代表理事 森崎 祐治 ㊟

監事 杉山 博 ㊟

監事 小田 稔彦 ㊟